

志小安全・防災だより



H31.2.4 No.41
安全・防災担当：早坂 潤

アワビの密漁対策訓練が漁港で行われました！

先月の21日に、志津川漁港で、南三陸警察署、気仙沼海上保安署、漁協の方々から密漁を想定した訓練を行いました。この日は風が強く波も高かったのですが、南三陸町地方卸売市場前にはパトカーがすでに待機しており緊張感が漂っていました。しばらくすると海上を聞いたことがないようなサイレンが流れ、海上保安庁の巡視艇「あさかぜ」に追い掛けられた密漁者の船が入ってきました。その後、陸に上がった二人の密漁者は、岸壁に駐めていた軽トラックの荷台に密漁物を積み、ブルーシートを掛けて逃走しようとしたときに、数台のパトカーに前をふさがれ、降りてきた警察官と壮絶なバトルが始まりました。見ていて、訓練とは思えないほどリアルなものでした。密漁者の中には、拳銃を持っていたり、格闘技を身に付けていたりすることがあり、訓練も本気でやらなければならないとのことでした。自分の身を守りながら犯人を取り押さえなければならない命がけの仕事の前に、訓練も本気で取り組んでいる警察官の姿を子どもたちにも伝えたいと思いました。



校庭の端にこのように大きな岩のかたまりが採掘されました！

校庭の仮設住宅の撤去工事が進み、今は最後の整地を進めているところです。この工事の途中に、校庭の西側奥から、写真のような大きな岩が見つかりました。建設会社の方の話によりますと、これだけ大きな岩は、最初からここに埋まっていたとは考えられないとのことでした。人の手が加わりここまで運ばれてきたのではないかと考えておりました。建設会社の方は、復興工事のためいろいろな場所で仕事をなさっているとのことですが、過去にもこのような大きな岩を掘り起こしたことがあり、その岩は昔の人が津波等の自然災害から自分たちを守るために守り神にしていた岩であったことを教えていただきました。この岩ももしかしたら昔、神様として祀られていたのかもしれない。



※ この部分が大きな岩のかたまりです。見晴らしのよいこの場所にあるということを考えると、やはり、ただの大きな岩ではないような気がします。